

東北大学附属図書館学習支援ポリシー

附属図書館は、「東北大学教学マネジメント・ポリシー」と「附属図書館ミッション」にもとづき、学生の総合的な学びを促す環境の構築と、グローバル・ラーニングや社会貢献をも視野に入れて、以下の学習支援ポリシーを掲げる。

1. 学生の自発的な学びに役立つ施設設備を整備する。

- ・多様なスタイルで学ぶ学生に対する施設設備の整備
- ・様々な障害や言語の壁に対するバリアフリー化のための施設整備

2. 学習に必要とされる多様な情報資源を充実させ、提供する。

- ・教員との連携による教育カリキュラムに即した情報資源の選定と提供
- ・国際的な研究に繋がる電子リソース(電子ジャーナル、データベース、電子ブック等)の整備
- ・幅広い教養を身に付けるための情報資源の整備
- ・古典籍等の原典に接することのできる学習・研究環境の提供

3. 大学における調査・学習スキル習得のための人的サービスを提供する。

- ・全学教育科目におけるレポート作成指導
- ・図書館における調査・学習スキル習得支援のための講習会等の実施
- ・調査・学習スキル習得のための教材の開発と提供
- ・SLA (Student Learning Adviser) との連携による学習・研究支援活動

4. 国際社会で活躍できる人材育成のためのグローバル・ラーニングを支援する。

- ・グローバル・ラーニング(語学能力向上を含む)を促す施設設備と情報資源の整備
- ・留学生コンシェルジュによる留学生支援・留学希望者支援と学内教育活動との連携

5. 知の基盤である図書館の学習環境を用い、広く社会に貢献する。

- ・知の基盤である図書館学習環境(施設設備・情報資源)を活かし、開かれた大学として学内外の知的交流の場、生涯学習の場としての機能促進
- ・古典籍等の豊富な原典資料を活かした展示会等の開催
- ・高大連携による大学での学びへの転換支援、学習スキル習得の支援

附属図書館は、上記のポリシーを実現するために相応しいスタッフの人材育成、学内関連部局教職員及び学外関連機関との協働を促進することにも尽力する。